

仲間と一緒に地域と共に

「民生さ～ん」

～見守り訪問活動こそ、地域の福祉力～

【発行元・問い合わせ先】
徳島県民生委員児童委員協議会

電話:088-654-8386
FAX:088-654-9250
メール:chiiki@tokushakyo.jp

令和4年9月に行われた徳島県内全民生委員・児童委員アンケート調査では、回答率が6割を越え、自由記述欄にはたくさんのコメントをいただきました。このことを通じ、民生委員・児童委員が活動を進めるうえで「やってよかった」というご意見や「〇〇の協力があったから」「〇〇のおかげで心強かったこと」等を整理し「**民生委員・児童委員の、経験と意思をつなぐ8つのこと**」としてまとめました。今年度はこのことについて地域の民生委員・児童委員などの実践活動や取り組みを共有できるようにします。今回のメッセージは“見守り訪問活動こそ、地域の福祉力”です。

災害時を見据えた、みんなで取り組む仕組みづくり ～民生委員活動こそ減災力～

3月23日、八万地区民児協は、徳島市社協が推進している「災害ボランティアコーディネーター養成講座」に参画しました。地区社協や自主防災組織、町内会も参加していました。地区民児協会長は社協担当者と打ち合わせをするなどして、参加しやすい場所や日程の調整をしたり、地域の実情に応じた内容等になるよう検討したりしました。「普段の付き合いが、大切。災害時にもみんなで声かけあえるようにしとかなな。」と、笑顔で民生さ～んが話されていました。



徳島市社協では、災害ボランティアセンターにおいて、被災者とボランティアをつなぐ、コーディネーターの養成に取り組んでいます。

急募

徳島県民児協では、「民生さ～ん」の発行に向けて、取材先を募集しています。事務局一同、お待ちしております。

「民生委員・児童委員の、経験と意思をつなぐ8つのこと」

令和4年9月に行われた徳島県内全民生委員・児童委員アンケート調査では、回答率が6割を超え、自由記述欄には、たくさんのコメントをいただきました。

民生委員・児童委員が活動を進める上で「やってよかった」「〇〇の協力があったから」や「〇〇のおかげで心強かったこと」を整理し、8つのメッセージとしてまとめました。

民生委員同士のつながりを大切に

定例会、交流会、研修会などを活かし、委員間の連絡、連携、意思疎通、情報共有を試みましょう



見守り訪問活動こそ、地域の福祉力

こまめな・ゆるやかな・あたたかな訪問活動を重ね、つかず離れずの関係を活かしましょう



地域とのつながりを大切に

地域の役員や近隣の人びとなどとのつながりづくり、協力者を得るためにはたらきかけをしましょう



地域活動に参加を

地域の行事や研修会、防災活動や安全パトロールなどに参加し、顔と名前を覚えてもらいましょう



情報を得て、活かしつつ、配慮を

あらかじめ役場、社協などの、関係機関の連絡先を確認しましょう
個人情報に配慮しつつ、関係機関から情報を得よう心がけましょう



つなぎ支援を活かして

支援対象者への関わり方や、身近な協力者との課題の共有化などについて学びましょう



関係機関との連携、ネットワークづくりを

ケース会議や見守り安心ネットワーク会議などに参加、連携を心がけましょう



民生委員・児童委員活動への理解促進に協力を

民生委員・児童委員活動への理解促進や住民への福祉教育を進める際には、協力しましょう

